

**2026 年度 獣医学研究科 博士課程 第 1 期入学試験問題**  
(必修： 伴侶動物内科学 )

**【出題の意図】**

設問 1. 犬の蛋白漏出性腸症の病態、診断法、治療方法について説明しなさい

出題意図

犬の蛋白漏出性腸症は、小動物臨床の現場において遭遇頻度の高い消化器疾患の一つである。また、大学附属動物病院等の二次診療施設に紹介来院することも多い。犬の蛋白漏出性腸症の病態、診断法、治療法については、世界中で多くの研究が行われており、2-3 年毎に分類や治療法の更新が行われている。そのため、犬の蛋白漏出性腸症に関する知見を深めておくことは重要である。

設問 2. 猫伝染性腹膜炎の病態、診断法、治療方法について説明しなさい

出題意図

猫伝染性腹膜炎 (FIP) は、猫腸コロナウイルスが遺伝子変異することによって発症する全身的肉芽腫性炎症性疾患である。FIP は何十年も前からよく知られた猫の感染症であり、数年前までは進行性で致死率の非常に高い疾患であった。2020 年頃からの世界的な COVID-19 の流行に伴い、コロナウイルスに対する治療薬の開発が進んだ。その過程で、猫の FIP に対する治療薬も開発され、現在では FIP は治療可能な疾患となっている。そのため、FIP の病態を理解し、適切な診断と治療を提供することの重要性がより増している。

設問 3. 犬の肝機能検査に用いられる血液検査項目を列举し、肝機能低下時の測定値の変動についてそれぞれ説明しなさい

出題意図

犬における肝酵素の上昇は、遭遇頻度の高い血液検査上の異常であり、肝機能の評価は治療法の選択や予後の予測などにおいて重要である。犬の肝機能の評価する指標は複数存在するが、一つの検査項目だけで肝機能を正確に評価することは困難であり、複数の検査結果を総合して判断する必要がある。そのため、犬の肝機能の評価するための指標の種類とその評価方法を理解していることが重要である。